

【施策評価調査】

施策名	5-1-3	体験(自然・社会・生活)学習の充実		115	高根沢町の将来を担う小中学生に職場体験や臨海自然教室等の体験の場を提供し、勤労感や職業観、仲間意識や思いやりの心を培い、将来にわたっての生きる力を育む。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	教育部こどもみらい課	担当	学校教育		
		リーダー	小林 美香子		
環境変化					総合的な学習の時間*や職場体験活動等を通して、協働・互助の精神や勤労観・職業観を養い、将来の自立を支援します。また、地域人材の活用を図るとともに、地域住民や学校支援ボランティアとの交流・連携を推進します。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：年間体験学習時間数(時間)	平成16年度	計画	612時間	612時間	612時間	612時間	612時間
	569時間	実績	612時間	612時間	612時間		
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	1,464,000	3,162,000	2,268,000		
決算	1,150,250	2,018,574	2,038,067			

事務事業事後評価 20年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか?(アウトカム)			
マイチャレンジ推進事業費	当初 148,000	参加生徒数(平成20年度の中学2年生見込数)	A	中学生が「大人になって仕事をすることは?」という、自分の将来について考える良い体験だった。この体験により、進路や学習の方向性を見つめるためにも継続して実施したい。			
	決算 140,500				318人 / 322人	今後の方向性(自己評価)	継続
自然教室事業	当初 1,218,000	参加児童数(平成20年度4年生見込数)	A	小学校5年生という身体的にも精神的も大人へと成長するとても重要な時期に、仲間と様々な体験をすることで、友人との信頼関係や体験による達成感を築くことができる良い機会であったことから、継続して実施したい。			
	決算 1,003,800				303人 / 299人	今後の方向性(自己評価)	継続
体験農場事業	当初 902,000	参加児童生徒数	A	農業体験を実施したことにより、農業者(大人)に対する尊敬感や生命の尊さなどを実感することができた。また食育につながる大切なじぎょうでもあるため、継続して実施したい。			
	決算 893,767				788人 / 1963人	今後の方向性(自己評価)	継続
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

施策事後評価 20年度の検証

	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
自己評価	将来について考える機会、仲間との信頼関係を築く機会、農業を通じた食に対する機会を体験したことにより、少しずつ大人へと成長することができた。そしてこの体験が学習へとつながるいい機会であった。	様々な体験学習を実施することにより児童生徒は確実に成長している。今後はあるが、施策の位置づけや事業の方向性による組み換えについて検討したい。
総合評価	継続的に施策展開されていると評価する。後期計画策定に向け、事業内容を精査した上で、児童生徒が「体験」することに対し、教育委員会として独自の色を出していくのか、同じような事業を行う、生涯学習課、産業課、環境課等に役割を任せると、整理、調整された施策展開を検討すること。また、それに併せて施策指標も見直すこと。	